

スウェーデン報道機関の対立

2009年8月23日 アシェル・イントレーター

中世の最も暗い時期に、いわゆる「キリスト教」による反ユダヤ主義において、ユダヤ人に関する奇妙で悪質な嘘が広まりました。それは、ユダヤ人はクリスチャンの子供たちを殺してその血で過越の祭りのためのマッツァ(種なしパン)を作るというものです。これは「血の中傷」と知られているものです。

今週、イスラエル新聞各社(マアリヴ社とイエディオット社)は、この馬鹿げた告発がもたらした反響の記事により、イスラエルとスウェーデンとの間に緊張が生じたことを報道しました。2001年、ドナルド・ボストロム氏は「インシャラー(アラーのご意思によって)」という本を書きました。この本でボストロム氏はイスラエル兵が罪のないパレスチナ人を殺して彼らの臓器を盗み、イスラエルでの臓器移植事業で利益を上げていると告発しています。この本に掲載されている謝辞のスポンサー一覧の中に、スウェーデン外務省がありました。

先週臓器を盗んで売るといふ、この奇妙で悪意に満ちた告発は、スウェーデンで最も発行部数が多く評判の高い新聞である「アフンブラデット」の記事として発行されました。これらの嘘や中傷に関して非常におぞましいことは、それがどんなに嘘であったとしても、それが十分に報道されているならば、人々はそれを信じ始めるということなのです。

イスラエル政府当局はスウェーデン政府にその記事を非難するように求めました。スウェーデンは自国の「表現の自由」に干渉したくないことを根拠に拒絶しました。イスラエル外務大臣であるリーバーマン氏はスウェーデンを厳しく批判しました。昨日、「アフンブラデット」の第一面に、イスラエルはスウェーデンの「表現の自由」を攻撃していると書き立てました。

ライバル誌であるスウェーデンの「スヴェンスカ・ダグ・ブラデット」は社説を発表し、政府と「アフンブラデット」の対応は偽善的であると述べました。彼らは、反イスラム的な漫画が2006年に掲載された時、イスラム教に対する感受性を損ねることをしたと政府と新聞社が公式な謝罪を発表したのではないかと指摘しました。

ここで厄介なことは、現代のこの「血の中傷」の内容だけでなく、またヨーロッパの報道陣や外交の偽善的な反応だけでなく、西洋社会にはイスラム過激派に対処する能力がないということなのです。スウェーデン人は「いい人」、ある意味では世界で最もいい人なのかもしれません。彼らは革新的で、心開かれており、思いやりのある人々です。

彼らはとてもいい人々なので、過去10年間に渡って自国に何万というイスラム教の移民を受け入れてきました。これらの移民は共同体をもうけて ジハードやシャリーア(注)という価値を推し進め、同様に反イスラエル、反ユダヤ活動を一般市民に扇動するのです。スウェーデンは彼らの感情を損

ないたくないために、他の西洋諸国と同様イスラム移民に影響されてしまうのです。西洋諸国はイスラエルに対する過激なイスラムのプロパガンダを飲み込み、信じているのです。

(訳注:イスラム聖法と呼ばれる宗教法で、その内容は宗教的規定にとどまらず民法、刑法、訴訟法、行政法、支配者論、国家論、国際法、戦争法にまでおよぶ幅広いもの。<http://ja.wikipedia.org/wiki/シャリーア>参照)

どうして見たところ理論的で、心開かれた人々がそのような嘘を信じるのでしょうか。もしそのようなことがイスラム教の人々に対して言われた場合、どのような反応が返ってくるか考えたことがありますか。西洋社会がイスラム教のジハードに屈することが広がり、暴力的な反ユダヤ主義が広範囲に蔓延するお膳立ては整いつつあります。それは、名目上のクリスチャンの目を「イスラエルの神」から背けさせ、最終的に諸国がイスラエルを攻撃するという最終戦争へと進むのです。

しかし同時に、各国に真の信者たちが「残りの人々:レムナント」として数を増やしています。彼らは聖書を、アブラハム、ヤコブ、イサクの神を信じ、ユダヤキリスト教の倫理観と教会の頭でありイスラエルの王であるイエシュア(イエス)を信じています。これこそ真のメシアの体であり、終わりの時の清い花嫁なのです。

イスラエルと諸国の真の信者たちの共同体、そこにはアラブクリスチャンや元イスラム教であった信者たちが含まれますが、その間に神によって定められた協力が構築されます。このイスラエルと教会の協力は世界の真実の柱となります。イスラエルのメシアニックジューの残りの者が、イスラエルと教会の契約的なつながりとなります。その契約において、神はご自身の御国をうち立てます。

イスラエルでの殺人、自殺、そして墮落

上記の対立とは裏腹に、今年イスラエル自身が国内での暴力や墮落に見舞われています。この3週間だけで、13件の殺人が生じ、その内いくつかは性的な逸脱行為、いくつかは核家族内でのもの、そしていくつかはアルコールと関連しています。私たちの普段から皮肉屋なイスラエル社会の中にあっても、私たちは自国民の腐敗に衝撃を覚えています。

ドウドゥ・パズは恐らく現代イスラエルにおいて最も人気の高いタレントでした。10年もの間、彼はTV人気で第1位でした。過去数年間、彼の人気は急激に落ち込みました。ねたみに襲われた彼は、彼の人気を越えたタレントを「排除しよう」と空想しました。最終的にドウドゥは5または6人の芸能界の代表者を襲撃した闇社会のエージェントとコンタクトを取りました。警察は彼を捕らえました。彼は裁判にかけられました。公衆の面前で屈辱を受けることに耐えられなかった彼は、昨日拘置所の独房で首を吊りました。

有名になること、栄光を受けるという中毒は、薬物中毒と同様極めて有害です。

救いのために祈りましょう。神の恵みなくしては、まったくイスラエルは他の諸国同様迷った罪深い国なのです。励まされるニュースとしては、この小さな、ストレスに満ちた国の中で福音が今までないほど成長していることです。毎日社会の最下層から最高層、世俗的な人々から宗教的な人々に対して同様にイエシュアの証が人々の心に触れているのです。

HさんとOさんは結婚します

最後に、私の家庭における喜ばしい勝利を一つ挙げます。私たちの愛する長男 H が来週 O という大切な若い女性と結婚します。彼女は我が親愛なる友であり仲間であるイスラエル人牧師である A.B.H 師の娘です。H と O は二人とも主を心から愛し、イスラエル国防軍において誠実に従軍し、彼らの周りにいる若い人々、年老いた人々すべてに対して誠実という輝く光となっています。

(訳者注: 添付されていた写真は彼らのプライバシーを考慮して削除しています。また、名前も伏せています。)